

○保育士B専門試験問題例

問1 保育所保育指針第2章保育の内容「1 乳児保育に関わるねらい及び内容」に関する次の文章について、(1) ~ (10) に入る語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

- A 保育士等の愛情豊かな受容の下で、(1)・心理的欲求を満たし、心地よく生活をする。
- B 個人差に応じて授乳を行い、(2)を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。
- C おむつ交換や衣服の着脱などを通じて、(3)の心地よさを感じる。
- D 体の動きや表情、(4)等を優しく受け止めてもらい、保育士等とのやり取りを楽しむ。
- E 保育士等による(5)、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。
- F 温かく、(6)を通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。
- G 身近な生活用品、(7)などが用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心をもつ。
- H 生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、(8)、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。
- I 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、(9)を使って遊ぶ。
- J 保育士等の(10)に機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。

【語句群】

- | | | | |
|--------------|------------|----------|----------|
| ア. 食事 | イ. 手や指 | ウ. 発声、喃語 | エ. あやし遊び |
| オ. 語りかけや歌いかけ | カ. 玩具や絵本 | キ. 大きさ | ク. 手遊び |
| ケ. 離乳 | コ. 受容的な関わり | サ. 自我の育ち | |
| シ. 清潔になること | ス. 触れ合い | セ. 生理的 | ソ. 色 |

問2 保育所保育指針に関する次の文章について、(A) ~ (D) に入る語句の正しい組み合わせを、1~5の中から選び、番号で答えなさい。

(A) は、保育所が各々の実態に即して工夫して作成することが重要である。保育所はそれぞれ、(B) や保育所の人的・物的環境が異なっており、それぞれが影響を及ぼし合っその保育所全体の特色を作り出している。子どもの生活や発達はいこれらに大きく影響を受けるものであるため、こうした特色を十分に生かした保育を行うことができるよう、(A) を作成する必要がある。

(A) の作成に当たっては、子どもの(C) を長期的に見通し、保育所の生活全体を通して、それぞれの時期にふさわしい具体的なねらいと内容を、(D) をもって構成する。

	A	B	C	D
1	全体的な計画	地域実態	個人差	一体性
2	全体的な計画	地域実態	発達過程	一体性
3	全体的な計画	地域環境	発達過程	一貫性
4	保育課程	地域環境	発達過程	一体性
5	保育課程	地域実態	個人差	一貫性

問3 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」における「乳児の窒息リスクの除去」の方法に関する次のA~Eの記述について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」を記入しなさい。

- A 医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、乳児の顔が見える仰向けに寝かせることが重要である。
- B 睡眠中には口の中に異物等ないかを確認し、柔らかい布団を使用し、ぬいぐるみは口に入らない大きさのものを使用する。
- C 一人にするときは短時間にすること、寝かせ方に配慮を行うこと、安全な睡眠環境を整えることは窒息や誤飲、けがなどの事故を未然に防ぐことにつながる。
- D ミルクや食べたもの等の嘔吐物がないか確認する。
- E 子どもの数、職員の数に合わせ、定期的に子どもの呼吸・体位、睡眠状態を点検すること等により、呼吸停止等の異常が発生した場合の早期発見、重大事故の予防のための工夫をする。

問4 保育所保育指針第2章保育の内容「3 3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」においては、この時期の発達の特徴を踏まえ「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域としてまとめられている。それぞれにあてはまるものを次の①～⑩の中から選び、数字で記入しなさい。

- ①自分でできることは自分でする。
- ②保育士等や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。
- ③したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
- ④日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。
- ⑤様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
- ⑥親しみをもって日常の挨拶をする。
- ⑦身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
- ⑧友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。
- ⑨いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。
- ⑩日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。

問5 次のA～Eの文章の下線部分について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」を正誤欄に記入し、「×」の場合は下線部分の正しい記述を記入しなさい。

- A 食中毒予防の三原則は食中毒菌を「付けない」「増やさない」「やっつける」である。
- B 保育所は、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、保育及び教育を一体的に行うことを特性としている。
- C 保育所で空気感染によって広がりやすいものとして、伝染性膿痂疹（とびひ）がある。
- D アレルギー物質を含む食品のうち7品目（卵・乳・小麦・落花生・いか・そば・かに）は、加工食品に使用した場合、包装に表示が義務づけられている。
- E わが国で実施されている予防接種には、定期接種と義務接種がある。

問6 今年度、保育所の3歳児クラスに入所したばかりのAちゃんの母親から「先日、3歳児健診に行った時に、ドクターより言葉が遅いと言われました。夫にも祖母にも言えず、どうしたらいいかわかりません」と連絡ノートに記入されていた。あなたは、3歳児クラスの担任としてこの保護者にどのように対応するか、述べなさい。

問7 5歳児のBちゃんは卵のアレルギーをもち、保育所でエピペン[®]を預かっている。
Bちゃんの担任であるあなたは、ある日の給食後、Bちゃんの様子の変化に気付いた。口のまわりが赤く、かゆがり、咳が出てきた。誤って卵の入ったスープを飲んだことが分かった。あなたはどのように対応するか、また保育所としてどのように対応すべきと考えるか、あわせて述べなさい。

問8 保育室での遊びの際、1つのテーブルが小麦粉粘土遊びの場となっている。近くのテーブルにいるMちゃん（1歳4か月）は、友だちが小麦粉粘土で遊ぶ様子が気になるようで、チラチラと見ている。他の友だちの手に小麦粉粘土がついている様子を見て、それはいやだと思うのか、テーブルに行くことはしない。Mちゃんは、以前、指に絵の具をつけるスタンプ遊びを行ったときも、自分から絵の具を指につけることはなかった。Mちゃんは、苦手だと思う遊びには加わらないことが続いている。

保育所保育指針第2章保育の内容「2 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」に照らし、担任であるあなたはどのように対応するか、述べなさい。（600字程度）